

高度物流人材育成講座

サプライチェーンサイエンスコース

第2期

管理技術の体系的学習=DX成功のカギ

主催：慶應義塾大学 高度物流人材育成塾
後援：国土交通省(予定)、経済産業省
協賛：日本量子コンピューティング協会

高度物流人材育成講座「サプライチェーンサイエンス」のご案内

第4次産業革命といわれデジタル化が進む中、最近では配送効率化や、人員最適配置など日常管理問題の先に横たわる大規模問題をいかに効率よく解くかという問題が競争の最重要課題になっており、世界各国が国家戦略として莫大な投資を行っています。

デジタル化やデータサイエンスでは、大量のデータを決まった要求に基づいて効率よく処理しますが、早く処理できるからといって現場の問題を解決できるとは限りません。現場における問題を解決するためには、現場を熟知しているベテランのノウハウが必要になります。しかし、ここで問題になることは、複数のベテランのノウハウが異なることです。当然ながら、多くのベテランのノウハウを吸収すればより効率よく問題を発見し解決することができます。

サプライチェーンサイエンスコースでは、100年以上蓄積された管理技術および90年代のICTの普及と共に発展してきたベテランのノウハウを体系化した理論、すなわち体系化された原理原則を伝授します。

原理原則（理論）は机上の空論ではなく、経験を帰納的にまとめた経験のエキスです。勿論理論をベースとして演繹的に仮説を立て、その仮説を実践において立証することで新しい経験、ノウハウ、あるいは原理原則にまとめることもあります。いずれにしても原理原則は現場の実践を経て確立されるものであり、原理原則を理解せず適当に仮説をたて、失敗したら原理原則を机上の空論と批判することは正しくありません。

本研修では、以下のカリキュラムで、調達、製造、販売、物流を含むサプライチェーン全体における最適化を実現するうえで必要になる原理原則を解説し、思考問題、事例、および数値例を用いて問題発見と問題解決の方法論やテクニックを伝授し、自社内部のモノの流れの最適コントロール、および調達と販売を含むサプライチェーンの最適化を指導できるリーダーの育成を目指します。生産物流分野でビジネスモデルの考案、評価、および意思決定を行う立場にある方、および経営の意思決定を行う立場にあるビジネスリーダーの受講をお待ちしております。

記

1. **主催**：慶應義塾大学高度物流人材育成塾

2. **日時**：2026年5月22日(金)～2026年8月7日(金) 16:00～19:30(全12回)

3. **会場**：対面の場合▶慶應義塾大学K2キャンパス

慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス厚生棟1F会議室(川崎市幸区新川崎7-1)

<https://www.k2.keio.ac.jp/access/index.html>

(JR横須賀線 新川崎駅下車 徒歩10分)

リモート参加の場合▶Teams

4. **参加費(1名様)**：50万円(3時間×12回、税別)

他のコースを受講済(または複数受講)の方には割引があります。詳細はお問い合わせください。

5. **定員**：30名(最小開催人数10名)

6. **お申込み方法**：添付書式によるFAXまたは同内容の電子メールにて期限迄にお申込みください。

7. **受講に関する留意事項**

- ・4ヶ月間(3時間×12回)の長期に渡る研修になりますので、オンラインによる受講等、継続して受講しやすいように配慮致します。(演習環境の都合で、一部オンライン受講できないこともあります)
- ・特殊技能または前提知識がなくても基礎から応用まで理解できるように工夫した研修コースです。
- ・修了者には修了証書を発行します。
- ・オプションとして海外著名大学の著名研究者と交流し、現地視察を実施します(実費別料金)。

8. **お問い合わせ先**：慶應義塾大学松川研究室 小山有紀 <yuki.koyama@keio.jp>

カリキュラム

(研修内容改善のため、タイトルおよび時間配分等は変更することがあります)

(1) SCM最適化の必要性.....【 5月22日(金)】

第1部 ステーションサイエンス

(2) 負荷と能力のバランスの科学.....【 5月29日(金)】

(3) ばらつきにどう対処するか.....【 6月 5日(金)】

(4) バッチ処理の影響と対処方法.....【 6月12日(金)】

第2部 ラインサイエンス

(5) フローの整流化の原理.....【 6月19日(金)】

(6) バッファリングの活用方法.....【 6月26日(金)】

(7) プッシュとプルの最適化.....【 7月 3日(金)】

第3部 ネットワークサイエンス

(8) 在庫は諸悪の根源か.....【 7月10日(金)】

(9) リスクマネジメントの方法論.....【 7月17日(金)】

(10) 自律分散と協調の原理.....【 7月24日(金)】

第4部 インバウンドとアウトバウンドのサイエンス

(11) 調達マネジメントにおける原理原則.....【 7月31日(金)】

(12) 需要予測の方法論.....【 8月 7日(金)】

第5部 海外短期留学・視察(有志・選択、実費別料金)【8月8日～31日で調整】

(1) マサチューセッツ工科大学 スローンマネジメントスクール(アメリカ)

Massachusetts Institute of Technology, Sloan School of Management, USA

(2) ミュンヘン工科大学 マネジメントスクール(ドイツ)

Technical University of Munich, TUM School of Management, Germany

講師予定者

藤野 直明 株式会社野村総合研究所

守屋 岳志 日産自動車株式会社

佐藤 知一 日揮株式会社

八木 将計 株式会社日立製作所

野中 剛志 株式会社 S U B A R U

久下 直彦 株式会社スマート工場研究所

太田 裕文 ENAA

足利 国洋 株式会社スマート工場研究所

山中 一克 株式会社竹中工務店

中塚 昭宏 青山学院大学

井川 玄 千代田化工建設株式会社

松川 弘明 慶應義塾大学

慶應義塾大学新川崎先端研究教育連携スクエア松川研究室御中

高度物流人材育成講座 サプライチェーン サイエンスコース

受講申込書

掲記、高度物流人材育成講座「サプライチェーン サイエンスコース」への受講を以下のとおり申します。

企業・団体名				
申込責任者		部署・職位		
		氏名		
連絡担当者 ※1		部署・職位		
		氏名		
		E-mail		
		電話		
		住所	〒	
受講者1	氏名		よみがな	
受講者2	氏名		よみがな	
受講者3	氏名		よみがな	
申込種別 (択一)		<input type="checkbox"/> 推薦：推薦者 ()		
		<input type="checkbox"/> 一般		
連絡事項				
領収証の 要否		<input type="checkbox"/> 必要 (宛先：)		
※宛先の指定が無い場合は、「企業・団体名」を宛先と致します。				

※1：受講料の請求書などをお送りさせていただく際の宛先情報をご記入ください。

ご送付先・お問い合わせ先情報

慶應義塾大学 松川研究室

郵送の場合：〒212-0032 川崎市幸区新川崎7-7 AIRBIC-A26

E-mailの場合：TO 小山 yuki.koyama@keio.jp

CC 松川 matsukawa@ae.keio.ac.jp

Faxの場合：044-276-8181

お申込み期限：2026年5月8日(金)